

みけつくくに
御食国ひょうご
令和の挑戦

都市近郊の立地を活かした
農林水産業の基幹産業化と
五国の持続的発展





農林水産業・農山漁村の 持続的発展をめざして

兵庫県知事 **齋藤元彦**

新型コロナウイルス感染症が広がりを見せて3年が経過し、感染対策と社会経済活動を両立させるウィズコロナの時代に入りました。一方、混迷するウクライナ情勢や円安、輸送コスト高などに起因する燃油や肥料・飼料等の価格高騰などが、本県の農林水産業にも多大な影響を及ぼしています。

兵庫県では、2021年3月に策定した「ひょうご農林水産ビジョン2030」のもと、①基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開、②県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出、③「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実を基本方向に様々な施策を展開していますが、昨今の食料安全保障問題やカーボンニュートラル、SDGsへの関心の高まりなどを踏まえ、さらなる取組が求められています。

大切なのは、過度な輸入依存からの脱却とそれらを支える国内供給力の強化です。農林水産業の生産基盤をより強固なものとするため、「構造改革」と「出口対策」の2本柱により、持続可能な農林水産業を実現していきます。

「構造改革」では、低コスト化や耕畜連携の推進、有機農業をはじめとする環境創造型農業の推進など「生産構造の改革」、また、多様な人材の確保・育成による「担い手構造の改革」に取り組みます。

「出口対策」では、2025年の大阪・関西万博も見据え、県産農林水産物の付加価値の向上をめざします。国内・海外市場をターゲットに流通販売を拡大するなど、ブランド力強化と生産者所得の向上に取り組めます。

この冊子は、「ひょうご農林水産ビジョン2030」の概要と、農林水産業・農山漁村に関する2023年度施策などを分かりやすくまとめたものです。県民の皆様幅広く手に取っていただき、ひょうごの「農」への理解がより一層深まることを願っています。

目 次

第1部 ひょうごの農林水産業の概要

- 1. 多彩なひょうごの農林水産業 P1~2
- 2. 農林水産業の概要 P3~4

第2部 ひょうご農林水産ビジョン2030概要

- 1. めざす姿 P5
- 2. ビジョンの基本方向 P5~6
- 3. ビジョンの位置付け P6
- 4. ビジョンの計画期間 P6
- 5. 推進項目と主な取組 P7~8
- 6. 農林水産ビジョン2030とSDGsとの関連 P9~10

第3部 2023年度施策の概要

- 1. ビジョン2030施策体系と2023年度予算 P11
- 2. 2023年度の重要施策 P12~16

1. 多彩なひょうごの農林水産業

兵庫県は、「日本の縮図」ともいわれるように、北は日本海、南は瀬戸内海及び太平洋に続く紀伊水道に面し、中央部には中国山地が東西に横たわり、高原、平野、島々など広大で変化に富んだ地形と厳寒、降雪、乾燥、温暖という様々な気候が存在するなど、他府県に類を見ない多様な自然環境を有しています。さらに、歴史的に形成されてきた特色ある固有の風土、文化を有する摂津（神戸・阪神）、播磨、但馬、丹波、淡路といった5つの地域で構成されており、多様な自然環境のもと、それぞれの地域の気候・風上に根ざした多彩な農林水産業が営まれています。

生産量で全国順位の上位を占める農林水産物が多く、主なものとして、農産物では、山田錦（酒米）（1位）、丹波黒（黒大豆）（1位）、たまねぎ、いちじく、カーネーション、また、水産物では、シラス（1位）、ホタルイカ（1位）、ハタハタ（1位）、ズワイガニ（1位）、ノリ養殖、イカナゴ、スズキ類などがあります。

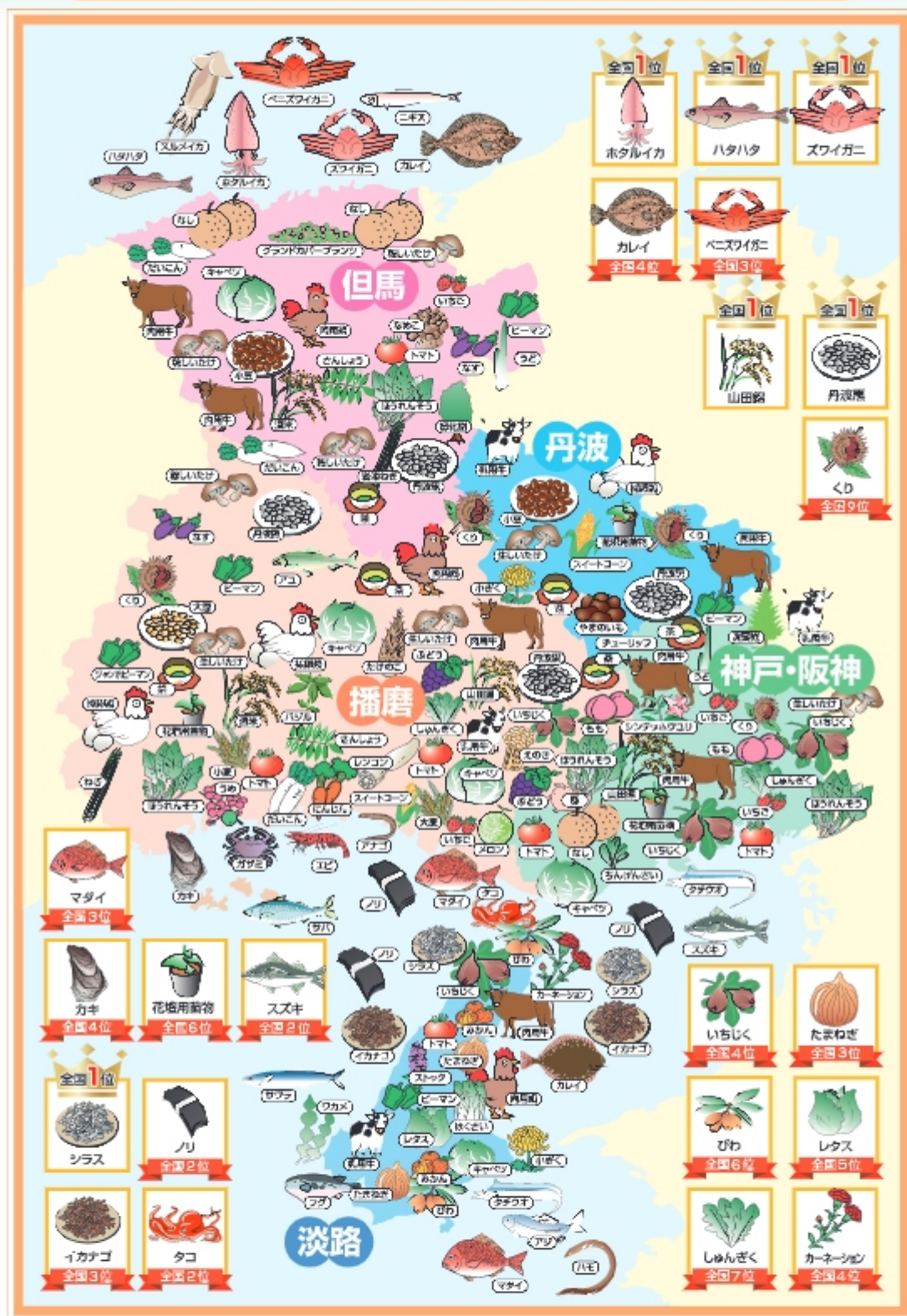
また、神戸ビーフ、明石鯛などは、全国的にも有名なブランドとして知られています。

地域的には淡路地域など農林水産業の盛んな地域を有する一方、人口の多い神戸・阪神地域を有する消費県でもあります。このため、食料自給率（令和2年度）は、カロリーベースでは15%（全国37%）、生産額ベースでは35%（全国67%）と全国よりも低い水準となっています。

全国上位を占める主な農林水産物

項目	生産量等	全国シェア	全国順位	県内の主な産地	備考（資料）	
米	山田錦〔酒米〕（出荷量）	15,951 t	57.8%	1	播磨地域	農林水産省「令和3年度米の農産物検査結果（改訂版）」 ※山田錦出荷量は検査数量ベース
豆	丹波黒〔黒大豆〕（収穫量）	1,059 t	41.1%	1	丹波・播磨地域	県農産園芸課調べ（令和3年）
野菜	たまねぎ（収穫量）	100,200 t	9.2%	3	淡路地域	農林水産省「令和3年度野菜生産出荷統計」
	レタス（収穫量）	25,900 t	4.7%	5	淡路地域	〃
	しゅんぎく（収穫量）	1,230 t	4.5%	7	神戸・阪神地域	〃
	はくさい（収穫量）	22,600 t	2.5%	10	淡路地域	〃
	キャベツ（収穫量）	26,200 t	1.8%	11	淡路・神戸地域	〃
果実	いちじく（収穫量）	1,297 t	11.2%	4	神戸・阪神地域	県農産園芸課調べ（令和元年）
	びわ（収穫量）	163 t	5.6%	6	淡路地域	農林水産省「令和3年度果樹生産出荷統計」
	くり（収穫量）	417 t	2.7%	9	丹波・阪神地域	〃
花き	カーネーション（出荷量）	17,400千本	8.6%	4	淡路地域	農林水産省「令和3年度花き生産出荷統計」
	花壇用苗もの類（出荷量）	24,800千本	4.5%	6	神戸・播磨地域	〃
畜産物	生乳（生産量）	77,936 t	1.0%	15	淡路・播磨地域	農林水産省「令和3年度牛乳乳製品統計」
	肉用牛（飼養頭数）	56,400頭	2.2%	11	淡路・播磨・但馬地域	農林水産省「令和3年度畜産統計」
	鶏卵（生産量）	100,789 t	3.9%	12	播磨地域	農林水産省「令和3年度畜産物流通統計」
	ブロイラー（出荷羽数）	12,494千羽	1.7%	12	但馬地域	農林水産省「令和3年度畜産統計」
	はちみつ（生産量）	64 t	2.3%	15	播磨・阪神地域	農林水産省畜産振興課調べ（令和3年）
水産物	シラス（漁獲量）	13,972 t	23.6%	1	瀬戸内海	農林水産省「令和2年度漁業・養殖業生産統計」
	イカナゴ（漁獲量）	142 t	2.2%	3	瀬戸内海	〃
	ノリ養殖（収穫量）	63,135 t	22.5%	2	瀬戸内海	〃
	ズワイガニ（漁獲量）	787 t	28.1%	1	日本海	〃
	ハタハタ（漁獲量）	1,783 t	36.7%	1	日本海	〃
	ホタルイカ（漁獲量）	3,377 t	57.6%	1	日本海	県水産漁港課調べ（令和2年）
	タコ類（漁獲量）	1,570 t	4.8%	2	瀬戸内海	農林水産省「令和2年度漁業・養殖業生産統計」
	カレイ類（漁獲量）	1,860 t	4.7%	4	日本海・瀬戸内海	〃
	ベニズワイガニ（漁獲量）	1,829 t	14.6%	3	日本海	〃
	マダイ（漁獲量）	1,664 t	11.1%	3	瀬戸内海	〃
	カキ（漁獲量）	9,115 t	5.7%	4	瀬戸内海	〃
	スズキ類（漁獲量）	483 t	8.6%	2	瀬戸内海・日本海	〃

多彩なひょうごの農林水産物マップ



「農」とは

土を耕し、森を育て、豊かな海を守り、食料をはじめ人々の生活を支える様々なものを産み出す農林水産業の営み、その営みを通じた生物多様性などの環境保全や洪水防止、水源かん養等の多面的機能により県民の「いのち」と「暮らし」を支えるもの。

さらには、人々の生活の場である農山漁村とそこに育まれた伝統・文化、豊かで美しい景観など、広く農林水産業・農山漁村を捉えた概念。

2. 農林水産業の概要

農業の現状

①農業産出額

本県の農業産出額は1,478億円（全国22位）で、近畿地方（6府県）の32%を占めており、京阪神都市圏の食料生産基地として重要な地位にあります。

農業産出額の構成比を見ると、米（28%）、野菜（24%）、畜産（40%）で全体の約92%を占めており、全国と比べると米の比率が高くなっています。

②基幹的農業従事者の年齢構成

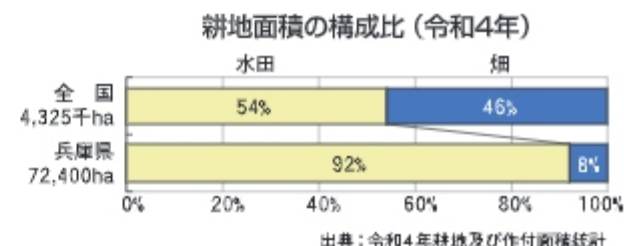
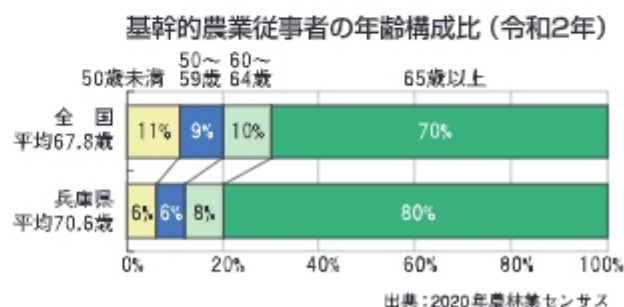
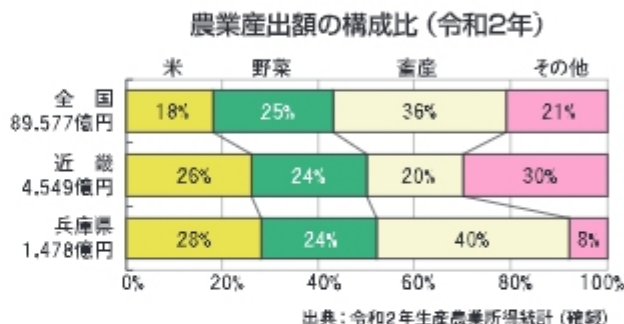
基幹的農業従事者の平均年齢は70.6歳と全国（67.8歳）よりも高く、高齢化が進行しています。

③耕地面積

耕地面積は、72,400ha（全国18位）です。そのうち水田面積は66,300ha（全国12位）で、耕地全体に占める割合は全国（54%）と比べると極めて高く、92%となっています。

一経営体当たりの経営耕地面積は1.2haで、全国（3.1ha）の半分以下であり、小規模な経営が大半を占めています。

また、降水量の少ない瀬戸内地域や淡路地域を中心に、ため池が数多く築造されており、農業用水の約半分はため池に依存しています。



畜産業の現状

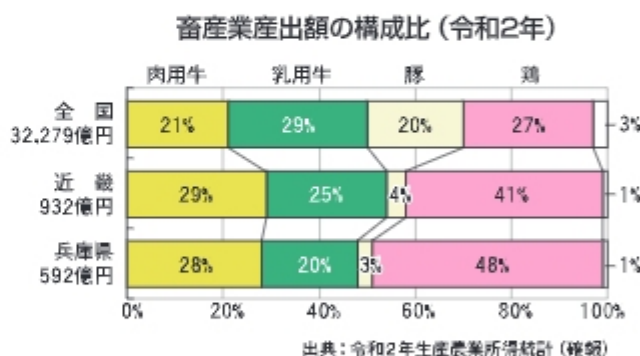
①畜産業産出額

本県の畜産業の産出額は592億円で、近畿地方（6府県）の64%を占めています。家畜別では、肉用牛が167億円、乳用牛が119億円、豚が17億円、鶏が287億円となっています。

②飼育状況

家畜の飼育状況は、肉用牛が56,400頭（全国11位）、乳用牛が12,900頭（全国15位）、豚18,200頭（全国38位）、採卵鶏が557万羽（全国14位）、肉用鶏が212万羽（全国14位）となっています。

肉用牛は県下全域で飼育されていますが、そのうち繁殖雌牛は43%が淡路地域で、27%が但馬地域で飼育されています。乳用牛は34%が淡路地域で飼育されており、採卵鶏は86%が播磨地域で、肉用鶏は69%が但馬地域で飼育されています。



林業の現状

①森林面積

本県の森林面積は560,178ha(全国14位)で、県土に占める森林の割合は全国とほぼ同じ67%ですが、そのうち、個人や集落が所有している民有林は529,857haで、その割合は95%と全国と比べて極めて高い状況です。

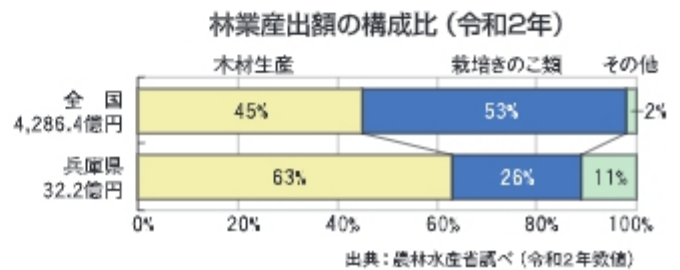
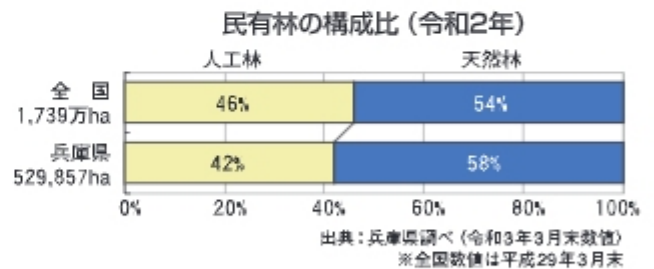
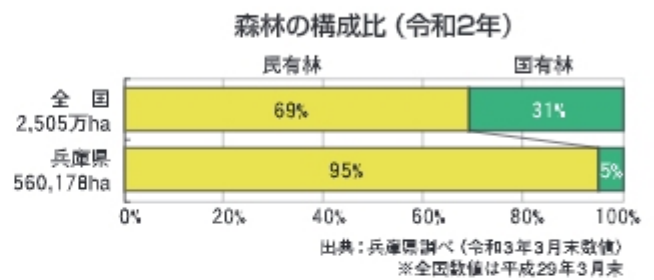
また、民有林の42% (221,531ha) をスギ、ヒノキ等の人工林が占めており、そのうち、伐採して利用が可能とされる46年生(10齢級)以上の森林が78%を占めています。

②林業労働者

県内林業労働者数は、令和3年度末現在750人で、減少傾向は続くものの、50歳未満の労働者数は、平成5年度の276人から令和3年度には436人へと増加し、年齢構成が若返ってきています。

③林業産出額

林業産出額は32.2億円で、このうち木材生産は20.4億円(63%)であり、針葉樹の産出額が95%を占めています。また、栽培きのこ類は8.4億円(26%)で、このうち、生しいたけが93%を占めています。



水産業の現状

①漁業産出額

本県の漁業産出額は488億円で、全国6位(シェア4.0%)に位置するとともに、近畿地方(6府県)の71%を占めています。

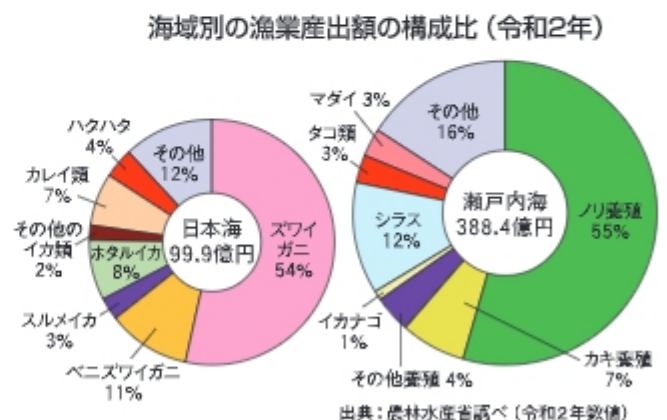
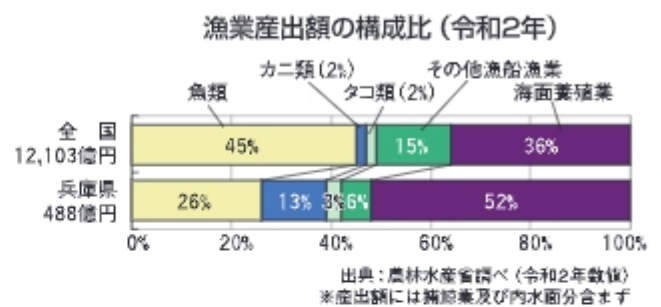
②日本海の特徴

日本海では、冬季風浪が厳しく、浅海域が少ないことから、大型船による沖合漁業が中心で、ズワイガニ、ホタルイカ、ハタハタ、カレイ類、ベニズワイガニなどが漁獲されています。

③瀬戸内海の特徴

瀬戸内海では、比較的水深が浅く、波浪が穏やかなことから、10t未満の小型船による沿岸漁業が中心となり、タコ、マダイ、シラス、イカナゴなどが漁獲されています。また、ノリやカキ等の養殖業も盛んで、特にノリ養殖の生産額は215億円と瀬戸内海の漁業産出額の55%を占めています。

シラス、ホタルイカ、ズワイガニ、ハタハタが全国1位、タコ、スズキ類、ノリ養殖が同2位など、生産量が全国順位の上位を占める水産物も多く、重要な地域資源として各地域の活性化に寄与しています。



1. めざす姿

みけつくに 御食国ひょうご 令和の挑戦

～都市近郊の立地を活かした
農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展～

新型コロナウイルスの影響を乗り越え、販売チャネルの多様化を図り経営基盤を強化した経営体が増加しています。また、UJIターン、二地域居住に対する関心の高まりに各地域が積極的に対応することにより地域が活性化しています。

さらに、SDGsの理解が深まり、都市近郊の立地を活かして実需者や消費者と直接結びついた持続可能な力強い農林水産業が展開されています。近年多発する自然災害への対応として防災・減災対策が進み、農福連携や農泊など「農」と多様な分野との連携による新たな取組が県内に広がり、県民が安心して暮らせる活力ある地域が創出されています。加えて、ひょうごの「農」がもたらす恵みが県民はもとより国内外でも享受され、ひょうごの「農」にかかわるすべての人々の健康で豊かな暮らしに結びついています。

2. ビジョンの基本方向

基本方向Ⅰ 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

スマート化による効率化、産品毎のブランド力の強化、多様な人材が農業を支え合う地域協働体制の構築、販売チャネルの多様化、海外市場の開拓等により、**基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開**をめざす。

農業



都市近郊の立地を活かし、施設野菜など野菜の生産拡大や、農業の法人化と経営力の強化、企業参入の促進による次代を担う担い手の育成、農地の集積・集約化等を進め、実需と結びついた競争力の高い農業の展開をめざす。

畜産業



但馬牛繁殖雌牛の増頭による但馬牛・神戸ビーフの生産体制の強化、需要に応じた生乳の安定生産を進め、安全・高品質な畜産物の生産強化をめざす。

林業



人工林の適正な経営管理のもと、県産木材の利用促進を図り、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが継続する資源循環型林業の構築をめざす。

水産



適正な栄養塩管理等による豊かで美しい海の再生、経営感覚に優れ意欲ある漁業者等の育成による収益性の高い力強い漁業の確立をめざす。

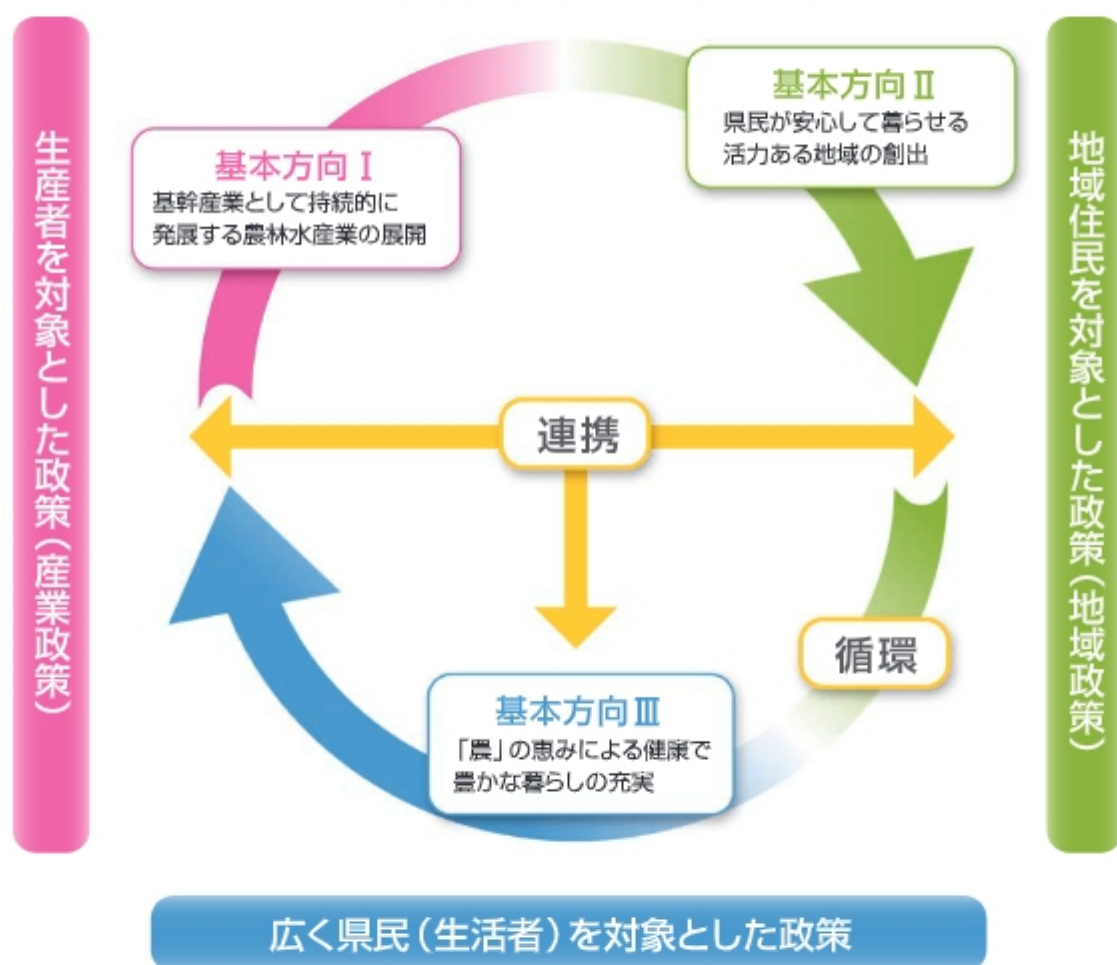
基本方向Ⅱ 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

地域ぐるみの協働活動や地域資源の活用などによる中山間地域の農村コミュニティの活性化や、災害に強い安全・安心な農山漁村の暮らしの確保、防災機能・公益的機能など森林の機能向上等により、**県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出**をめざす。

基本方向Ⅲ 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

「楽農生活」のさらなる推進や農福連携等多様な分野との連携強化により、ひょうご五国の特徴ある多自然地域や農林水産業の維持・活性化、県産農林水産物の安全・安心で安定的な供給体制の強化により、「農」の恵みによる**県民（生活者）の健康で豊かな暮らしの充実**をめざす。

【産業政策と地域政策の連携・循環】



3. ビジョンの位置付け

本県農林水産行政推進の基本となる計画的かつ総合的な指針です。

また、農林水産業従事者のみならず、農山漁村や都市で暮らす人々などの県民、さらにインバウンドによる観光旅行者等、本県の食と「農」に関わるすべての人々を対象とした行動指針です。

4. ビジョンの計画期間

このビジョンの計画期間は、令和3年度から令和12年度（2030年度）までの10年間とします。

5. 推進項目と主な取組

基本方向Ⅰ 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

(1) スマート化による新しい農林水産業の実現

- ①低コストで導入可能な兵庫型スマート農業技術の開発・実証
- ②スマート農林水産業の導入推進（搾乳ロボット、森林クラウドシステム、漁場環境情報システム等）
- ③スマート農業機械の共同利用等の支援



スマート農業技術マッチングプラットフォーム
(<https://hyogo-smart-agri.com/>)

(2) 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開

- ①高度環境制御技術の導入等による競争力の高い施設園芸産地の育成
- ②高温対策や需要と直結した米の安定生産の推進
- ③法人化と法人経営の強化による持続的な経営体の育成
- ④収入保険制度・農業共済制度への加入や制度資金の活用による経営の安定化の促進
- ⑤農作業の分業化による副業的な農作業の従事者や地域の多様な人材の確保
- ⑥地域ぐるみによる新規就農者の確保・定着支援
- ⑦地域計画の策定推進やオペレーターの育成等による集落営農の組織化と経営力の強化
- ⑧企業による農業参入・参画の促進、参入企業の育成
- ⑨野生動物の「潜み場」対策やスマート化等による荒廃農地の発生防止・解消
- ⑩地域の農業を支え合う持続可能な協働体制の確立（いきいき農地バンク方式、リモコン式草刈機の導入等）
- ⑪農家と消費者が連携し相互に支え合う地域支援型農業（CSA）の推進
- ⑫農地の集積・集約化及び農地の大区画化やパイプライン化の推進
- ⑬人と環境にやさしい環境創造型農業の拡大



企業の感覚に富む農業経営体を育成するひょうご農業MBA塾（神戸市）



アメリカでの神戸ビーフのプロモーション

(3) 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化

- ①牛舎整備や繁殖雌牛の導入支援等による但馬牛増頭
- ②但馬牛肥育マニュアルを活用した高品質な牛肉等の安定生産
- ③但馬牛・神戸ビーフのブランド力の強化
- ④スマート機器の整備支援等による生乳の安定生産
- ⑤高品質な堆肥生産と耕畜連携の推進



県産木材を用いた工務店新社屋（丹波市）

(4) 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進

- ①民間施設の木造・木質化や燃料用チップの安定供給などによる県産木材の利用推進
- ②人工林のゾーニングによる木材生産と環境保全の調和がとれた計画的な森林整備の推進
- ③県立森林大学校の充実による新規林業就業者の確保・育成
- ④低コストで効率的な主伐・再造林の普及モデルの展開

(5) 豊かな海と持続的な水産業の実現

- ①漁業者による海底耕うん等による浅場や藻場等の生物生息環境の保全・回復
- ②環境改善が期待出来る種苗等の放流による新たな栽培漁業の展開
- ③漁場現場での長期研修等の支援による漁業者の確保・育成
- ④漁業者の所得向上に向け収益性の高い養殖業・漁船漁業の確立



最新設備を導入した改革型沖底漁船（新温泉町）

(6) 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上

- ① 産品が持つ優位性(魅力)を明確にしたブランド戦略の策定・実践の推進
- ② ECサイトの活用や兵庫県認証食品のプロモーション強化
- ③ 神戸ビーフ、県産米、日本酒等の輸出促進
- ④ 生産から消費まで結びつけるフードチェーンづくりとブランド強化の推進
- ⑤ 農家自らによる商品開発や直販等につながる6次産業化の推進

(7) 食の安全を支える生産体制の確保

- ① GAP(農業生産工程管理)や農場HACCPの考え方に基づく衛生管理体制の導入推進
- ② 重大家畜伝染病の発生・まん延防止(口蹄疫や豚熱、鳥インフルエンザ等)



ひょうご美味し出会い
キャンペーンポスター

基本方向Ⅱ 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

(8) 特色を活かした活力ある地域づくりの推進

- ① 棚田の多面的機能の維持と地域の賑わいづくりの推進
- ② UJIターン施策と連携した定住・二地域居住や就農促進
- ③ 野生動物の個体数管理による農林業被害の軽減対策の推進
- ④ 多面的機能支払制度・中山間地域等直接支払制度を活用した農業生産活動等の推進
- ⑤ バイオマスを活用した地域活性化の推進
- ⑥ 内水面における水産資源の維持と地域活性化の推進



ため池保全サポートセンターによる
巡回点検(三田市)

(9) 農山漁村の防災・減災対策の推進

- ① ため池の定期・巡回点検の実施や改修・廃止の推進
- ② 治山ダム整備等による計画的な危険地区の解消
- ③ 漁港施設の長寿命化等の推進



人家等保全対策を目的とした
治山ダム(丹波市)

(10) 豊かな森づくりの推進

- ① 森林環境譲与税を活用した森林管理の徹底
- ② 針広混交林への誘導や危険木伐採等による災害に強い森づくりの推進

基本方向Ⅲ 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

(11) 食と「農」に親しむ楽農生活の推進

- ① 楽農生活の意義の理解促進
- ② 田園回帰に伴う定住・二地域居住や半農半X志向による楽農生活実践の拡大
- ③ 地域楽農生活センターの全県への拡大



県産食材を利用した加工体験
(兵庫楽農生活センター、神戸市西区)

(12) 「農」と多様な分野との連携強化

- ① 農林漁業者と福祉事業所とのマッチング促進による農福連携の推進
- ② グリーン・ツーリズムの推進
- ③ マリン・ツーリズムの推進

(13) 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進

- ① 卸売市場を通じた安定供給の確保
- ② 県産県消の推進(直売活動の支援、おいしいごはんを食べよう県民運動、学校給食での県産物の利用促進、食育、魚食普及)



農福連携研修会(神戸市西区)

6. 農林水産ビジョン2030とSDGsとの関連

「ひょうご農林水産ビジョン2030」のめざす姿（御食国ひょうご 令和の挑戦～都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展）とSDGs（持続可能な開発目標）は、農林水産業・農山漁村を含め「持続可能な地域づくり」をめざす観点で合致しており、また、それぞれは2030年を目標年に定めている点でも共通しています。

【農林水産分野でのSDGsの理解醸成（令和4年度）】

県内の農林漁業者や関係機関等に対してSDGsへの理解を促進するため、セミナー・シンポジウムに有識者を招いて講演を行ったほか、農林漁業団体、農林漁業者、食品関連事業者等の経営計画にSDGsを盛り込むための専門家派遣を実施しています。

農林水産SDGsシンポジウムの基調講演（令和5年2月1日）

「SDGsの目指す世界とプラスサム資本主義」 SDGパートナーズ(有) 田瀬 和夫氏

- SDGsが全体として理解されない原因の一つは、大きなストーリーの一部である17の目標の部分だけを見ているため。「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された前文や宣言のとおり、「世代を超えて」「すべての人が」「自分らしく」「よく生きられる」世界を目指した概念であることを理解して取り組むことが重要。
- 企業は継続的に金を稼ぎ利益を得ながら社会に善をなすべき。

【県内の先進事例】

県下では、生産者や実需者が連携し、SDGs達成に向けて取り組んでいる事例が多数あります。

(株)グリーンファーム 揖西

地域内での連携により、ヒガシマル醤油(株)の製造過程で発生するもろみかすを(株)高田商店が堆肥化し、水稲・小麦・大豆の土づくりや、水稲の化学肥料代替として利用



発酵もろみ堆肥の散布

但馬漁業協同組合

未利用魚の活用のため、大徳醤油(株)と連携した魚醤、香住高校と連携した缶詰（炊込みご飯・煮付け・ご飯の素）を開発



未利用魚を活用した魚醤

(株)神戸酒心館

弓削牧場のミニバイオガスプラントから生まれる副産物「消化液」を利用して神戸市北区で山田錦を栽培し、その山田錦で日本酒を製造
また、世界初のカーボンゼロの日本酒を開発



消化液で育てた酒米を原料にした日本酒「環(めぐる)」

(株)マルヤナギ小倉屋

加東市やJAみのり、生産者、社高校等と連携し、「ひょうごもち麦」の生産・活用の拡大を通じた農業振興、健康増進により地域の活性化を推進



ひょうごもち麦プロジェクト

【SDGsとは】

SDGsは、2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国首脳に参加のもと、全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。

それらは、貧困や飢餓から環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、豊かさを追求しながら地球環境を守り、そして「誰一人取り残さない」ことを強調し、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成することが目標とされています。

「17の目標」一覧表

目標	内容
1  貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
2  飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
3  すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
4  質の高い教育をみんなに	全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
5  ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女性の能力強化を行う
6  安全な水とトイレを世界中に	全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7  エネルギーをみんなに そしてクリーンに	全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
8  働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
9  産業と技術革新の基盤を つくろう	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
10  人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の不平等を是正する
11  住み続けられる街づくりを	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
12  つくる責任つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する
13  気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
14  海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15  陸の豊かさも守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
16  平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17  パートナーシップで目標を 達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

1. ビジョン2030施策体系と2023年度予算

【めざす姿】

【基本方向】

【推進項目】

【推進項目の概要】

御食国ひょうご 令和の挑戦

都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展

I

基幹産業として持続的に発展する
農林水産業の展開

39,730百万円

1. スマート化による新しい
農林水産業の実現

276百万円

2. 多様性と都市近郊の立地
を活かした力強い農業の
展開

9,353百万円

3. 需要に応じた高品質な
畜産物の生産力の強化

687百万円

4. 木材利用の拡大と
資源循環型林業の推進

26,777百万円

5. 豊かな海と持続的な
水産業の実現

1,935百万円

6. 農林水産物のブランド力
強化と生産者所得の向上

507百万円

7. 食の安全を支える
生産体制の確保

195百万円

ICTやセンシング技術、自動化技術など先端技術を活用し、各地域の営農条件等に対応したスマート化を推進します

多様な自然環境と消費地に近接する立地を活かし、実需と結びついた競争力の高い農業を展開します

神戸ビーフ館の開設や但馬牛の日本農業遺産の認定を契機とし、神戸ビーフ、但馬牛のさらなる需要を喚起します

県産木材の利用を促進し、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが継続する「資源循環型林業」を構築します

漁場整備や増殖場の機能を回復・強化し、積極的な種苗放流等により、豊かで美しい海を再生します

県産農林水産物について、それぞれの産品が持つ優位性(魅力)を明確にし、国内・海外市場をターゲットに流通・販売の拡大を図ります

生産者と連携して、食の安全性を確保するとともに、持続可能な生産体制を強化し、県民に信頼される食の安定供給を推進します

II

県民が安心して
暮らせる活力ある
地域の創出

22,714百万円

8. 特色を活かした活力ある
地域づくりの推進

5,541百万円

9. 農山漁村の
防災・減災対策の推進

14,884百万円

10. 豊かな森づくりの推進

2,289百万円

田園風景や地域のお祭りなどの地域資源の活用や、地域ぐるみで環境保全に取り組むことにより、集落機能の維持等を推進します

近年頻発化する局地的な豪雨や台風、近い将来に危惧される南海トラフ等巨大地震に備えるため、安全・安心な農山漁村づくりを推進します

森林を県民共通の財産と位置づけ、県民緑税などを活用した、森林の適正管理と災害に強い森づくりにより、森林の公益的機能の維持・向上を推進します

III

「農」の恵みによる
健康で豊かな
暮らしの充実

328百万円

11. 食と「農」に親しむ
楽農生活の推進

115百万円

12. 「農」と多様な分野との
連携強化

64百万円

13. 県民への農林水産物の
安定供給と県産県消の
推進

149百万円

県民一人ひとりの「楽農生活」が充実し、さらには県民の取組が地域や世代を超えたつながりや広がりを推進します

「農」と福祉や観光など他分野との連携を強化し、農福連携やグリーン・ツーリズム等の取組の展開により、農山漁村の活性化を推進します

卸売市場をはじめとした流通システムのより一層の強化や、県産県消の推進により消費者と生産者がともに支え合う関係を構築します

※予算額は10万円単位で四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

2. 2023年度の重要施策

【施策展開方向】

食料安全保障の強化に向けて、過度な輸入依存からの脱却と、それを支える国内の供給力の強化を実現するためには、農林水産業の生産基盤が強固であることが前提となる。

このため、コスト構造の改革、環境負荷の低減、地域資源の有効活用等により持続可能な農業を実現していくとともに、「地域計画」の策定を推進し、多様な人材の地域農業への関わりにより持続可能な地域づくりを推進する。

さらに、県産農林水産物の付加価値を高め、国内・海外市場での流通・販売を拡大していく。

また、兵庫デスティネーションキャンペーン等の機会を活用して地域に人を呼び込み、PRや消費につなげることで、さらなる販路拡大と2025年大阪・関西万博への誘客を促進する。

項 目	内 容	
1.兵庫型スマート農業の推進	①スマート農業技術のマッチングの推進 ②産地低コスト化の促進	P.13
2.有機農業をはじめとする環境創造型農業の推進	①有機農業をはじめとする環境創造型農業検討会の設置 ②化学肥料等の利用低減体系の構築 ③有機農業の取組拡大支援	P.13
3.多様な人材の確保・育成による担い手構造の改革	①「地域計画」の策定の推進 ②企業力を活用した地域農業の活性化の推進 ③「農」に携わる人材確保モデルの取組支援	P.13
4.農地利用の最適化と効率的な生産基盤の確立	①農地の集積・集約化の推進 ②農地の条件整備	P.14
5.高品質な畜産物の生産力の強化	①但馬牛の改良と但馬牛・神戸ビーフのブランド強化 ②耕畜連携の推進	P.14
6.県産木材の利用拡大と適正な森林整備の推進	①木造住宅への県産木材のさらなる活用に向けた設計支援 ②木造設計に対応する建築士の養成 ③市町へのJクレジット制度の取組支援	P.14
7.豊かな海と持続的な水産業の実現	①全国豊かな海づくり大会のレガシーを受け継ぐ県民運動の展開 ②豊かな海の再生に向けた新たな栽培漁業の展開 ③流通拠点の機能強化	P.15
8.県産農林水産物流通・販売の拡大支援	①県内スーパー等での販売拡大支援 ②国内での販路拡大支援 ③海外向けの展開	P.15
9.県産県消の推進	○学校給食における県産食材の利用拡大	P.15
10.重大家畜伝染病の発生・まん延防止対策の徹底	○飼養衛生管理の徹底と迅速な初動防疫体制の強化	P.16
11.ため池災害等の未然防止と減災・避難対策の推進	①ため池の防災対策の推進 ②ため池の治水活用による減災対策の推進 ③ICT等を活用した避難対策の促進	P.16
12.災害に強い森づくりの推進	①里山防災林の整備 ②住民参画型の森林整備	P.16

2023年度の重要施策

重要施策1 兵庫型スマート農業の推進

農業の省力化や労働環境改善、経営安定等を目指すため、ICT等の先端技術を活用したスマート技術の導入を支援します。

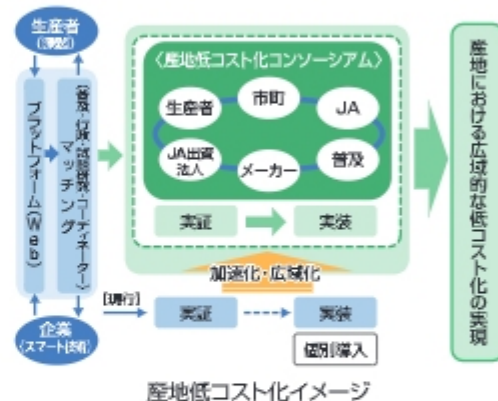
【取組内容】

①スマート農業技術のマッチングの推進

Web上に構築したプラットフォームにおいて、民間コーディネーターを中心に産地と企業のマッチングを進め、地域の課題解決や経営改善を図る取組を実施

②産地低コスト化の促進

産地内のスマート農業機械のシェアリングを行うグループ形成を支援し、低コスト化・生産性向上等を促進



重要施策2 有機農業をはじめとする環境創造型農業の推進

地球温暖化対策への貢献等、新たな視点を加えた施策展開を検討するほか、化学肥料、化学合成農薬の利用低減技術体系の普及や、モデル経営体の育成により、取組面積の拡大を図ります。

【取組内容】

①有機農業をはじめとする環境創造型農業検討会の設置

外部有識者等からなる検討会を立ち上げ、地球温暖化対策への貢献など新たな視点も加えた今後の施策展開を検討

②化学肥料等の利用低減体系の構築

地域に適した環境創造型農業技術（上づくり技術、化学肥料・化学合成農薬低減技術）の体系を確立し、栽培暦等に反映して普及を図るJA等を支援

③有機農業の取組拡大支援

一定規模以上の慣行農業の経営体を対象に、有機農業への転換を支援し、地域における有機農業のモデル経営体として育成



土づくりのための堆肥散布

重要施策3 多様な人材の確保・育成による担い手構造の改革

地域の話合いに基づき、将来の担い手と農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定と、多様な人材の地域農業への参画を推進し、持続可能な地域づくりを実現します。

【取組内容】

①「地域計画」の策定の推進

ひょうご地域計画推進アドバイザーの育成・確保により、地域の多様な人材の話合いを支援し、地域課題に応じた農地・担い手関連施策を一体的に働きかけ

②企業力を活用した地域農業の活性化の推進

企業の関心や活動ニーズに即した柔軟な伴走支援により、円滑な農業参入や、農業者との連携を通じた地域農業への継続的な参画を実現

③「農」に携わる人材確保モデルの取組支援

定住・二地域居住や半農半X等を志向する者を、「農」に携わる人材として確保するモデル的な取組を支援し、地域農業への多様な人材の参画を推進



集落での話合い(豊岡市)

重要施策4 農地利用の最適化と効率的な生産基盤の確立

「地域計画」の実現に向け、地域での話し合い及び農地バンクを活用した担い手への農地の集積・集約化を進めます。

【取組内容】

①農地の集積・集約化の推進

農地バンク（農地中間管理機構）の利用による担い手への農地の集積・集約を、担い手の確保・育成や地域の役割分担による農地保全と併せて推進

②農地の条件整備

「農地整備10箇年推進プログラム」に基づき、ほ場の大区画化や用排水路の管路化、ICTを用いた給排水の自動化、野菜等高収益作物導入のための暗渠排水工等を推進



遠隔操作型自動給水栓（たつの市）

重要施策5 高品質な畜産物の生産力の強化

但馬牛の改良や但馬牛・神戸ビーフのブランド力の強化を図るとともに、耕畜連携を推進し畜産物の生産力を強化します。

【取組内容】

①但馬牛の改良と但馬牛・神戸ビーフのブランド強化

従来の但馬牛の改良手法にゲノム情報を取り入れて遺伝的多様性の確保と産肉性や繁殖性の向上を図るとともに、急回復が期待されるインバウンド観光客らに対して国内外で但馬牛・神戸ビーフの歴史や魅力を発信し、ブランドを強化

②耕畜連携の推進

畜産堆肥等を利用した農作物や自給飼料の生産を進める耕畜連携の取組を推進し、地域資源の循環による畜産物の生産力を強化



ロールベアラーによる収穫作業
（南あわじ市）

重要施策6 県産木材の利用拡大と適正な森林整備の推進

新たな木材需要や用途を開拓することで、県産木材の利用拡大を図るとともに、Jクレジット制度を活用した市町の森林整備を支援します。

【取組内容】

①木造住宅への県産木材のさらなる活用に向けた設計支援

県産木材の使用率が30%以上で、横架材（梁・桁）に県産木材を使用する住宅の設計費を上乗せ支援し、木造住宅への県産木材の利用を推進

②木造設計に対応する建築士の養成

非住宅建築物の木造設計ができる建築士を養成するなど、公共建築物に加え、民間建築物の木造・木質化を推進

③市町へのJクレジット制度の取組支援

制度の普及啓発に加え、収益性の試算、CO₂吸収量算定資料の作成を支援することで、これまで行ってきた森林整備実績をクレジットとして販売し、新たな収益で森林整備を実施する取組を支援

さらに、クレジット販売拡大に向け、企業向けセミナーを開催し、企業（下流）と森林（上流）のクレジットとのマッチングにより、県内におけるカーボンオフセットを推進



建築士を対象とした研修会の開催
（宍粟市）

重要施策7 豊かな海と持続的な水産業の実現

第41回全国豊かな海づくり大会を出発点に、「豊かな海」の実現に向けた県民総参加による豊かな海づくりを推進するとともに、漁業者の生産活動を支える取組を推進します。

【取組内容】

①全国豊かな海づくり大会のレガシーを受け継ぐ県民運動の展開

海に関する幅広い分野の事業者や県民が参画する「ひょうご豊かな海づくり県民会議（仮称）」を設立し、大会のレガシーが将来にわたり継承されるよう、県民参加型イベントへの支援、普及啓発のための推進大会の開催等、官民連携による運動を展開

②豊かな海の再生に向けた新たな栽培漁業の展開

海底の有機物を分解し栄養塩を放出するなど“豊かな海再生種苗”として期待されるナマコ、クマエビの本格的な生産・放流を実施するとともに、マダコの資源回復を推進するため、種苗生産技術の開発を実施

③流通拠点の機能強化

播磨地域の流通拠点漁港である妻鹿漁港（県管理第2種漁港）において、漁港の機能強化を図るため、荷揚げ用浮棧橋の整備に向けた設計に着手



人工生産したマダコ幼生

重要施策8 県産農林水産物流通・販売の拡大支援

人口が多い県南地域や関西圏での県産品取扱量の増加を図るため、販路拡大や県産農林水産物の認知度向上に向けた取組を推進します。

【取組内容】

①県内スーパー等での販売拡大支援

量販店等への出荷に対応する新たな広域配送ルートモデルづくりや店頭でのPR活動を支援するほか、「御食国ひょうご」を活用したネット取引の支援等を通じ販売力を強化

②国内での販路拡大支援

関西圏の外食チェーン店や、神戸・阪神間の飲食店で県産農林水産物を使用した兵庫県フェアを開催するほか、夏の兵庫デスティネーションキャンペーンの機会を活用し、「兵庫の食の魅力」を県内外に発信

③海外向けの展開

香港、マレーシア、フランスにおいて、シェフ・バイヤー等への営業活動、スーパー等でのテスト販売等を実施し、新たな市場拡大と万博への誘客促進を実現



量販店でのPOP等による産地PR

重要施策9 県産県消の推進

学校給食における県産食材の利用を増加し、県産農林水産物の生産拡大を図ります。

【取組内容】

●学校給食における県産食材の利用拡大

学校給食での県産食材の利用を推進するため、市町への供給食材の選定や生産者と給食サイドをつなぐアドバイザーを派遣

生産者団体等を派遣対象に加えるとともに、有機農産物の利用にも活用できるよう制度を充実



学校での食育事業（播磨町）

重要施策10 重大家畜伝染病の発生・まん延防止対策の徹底

口蹄疫や豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の重大家畜伝染病の発生予防対策と発生時の防疫措置をより一層強化します。

【取組内容】

●飼養衛生管理の徹底と迅速な初動防疫体制の強化

畜産農家に対し飼養衛生管理指導を徹底するとともに、重大家畜伝染病発生時に、迅速かつ効率的に防疫作業を開始できるよう、防疫資材の保管・搬送体制、民間事業者等を含む作業人員の配置計画を更新するなど、防疫体制を強化



防疫資材を保管している民間倉庫
(姫路市)

重要施策11 ため池災害等の未然防止と減災・避難対策の推進

頻発化・激甚化する豪雨や大規模地震に備え、農村における安全・安心な暮らしを確保するため、ため池の防災対策に加え、減災・避難対策を推進します。

【取組内容】

①ため池の防災対策の推進

「兵庫県ため池防災工事等推進計画(R3～R12)」に基づき、優先度が高く早急な防災対策が必要なため池について、改修・廃止工事を集中的かつ計画的に実施

②ため池の治水活用による減災対策の推進

ため池の貯留機能を効果的に発揮させるため、施設整備の実施や水位管理の掛り増し経費等を管理者に支援するなど、ため池の治水活用による減災対策を推進



廃止工事が完了したため池
(南あわじ市)

③ICT等を活用した避難対策の促進

安全かつ迅速に情報共有、避難誘導を図るため、「ため池監視システム」や「ため池管理アプリ」等のICT技術を活用した避難対策を促進

重要施策12 災害に強い森づくりの推進

記録的な豪雨や台風による被害が甚大化・頻発化していることから、森林の防災機能の強化を図るため、災害に強い森づくり(第4期対策)を推進します。

【取組内容】

①里山防災林の整備

集落裏山にある里山林の山地災害防止機能向上のため、危険木伐採等の森林整備や簡易な防災施設の整備を実施

②住民参画型の森林整備

参画と協働による災害に強い森づくりを促進するため、地域住民やボランティア等による自発的な森林整備活動を支援



里山防災林整備(簡易防災施設)
(神戸市北区)

兵庫 県

令和5年3月

編集／兵庫 県農林水産部

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL.078-341-7711(代表) FAX.078-362-4458(総合農政課)